

県 広 報

とやま

特集/県政この一年

TOYAMA PREFECTURAL REPORT





一生かかって追求する 価値のあるもの

ピアニスト 高木栄子さん

「本当に大勢の人達が聴きにきてくれてびっくりしました。やっぱり久しぶりの演奏会で緊張しましたね。」このほどドイツへの音楽留学から帰国し、新川文化ホールで初リサイタルを成功させた高木栄子さんの第一声です。

父親がピアノ教室を開いていたこともあり、赤ん坊の頃から音楽に包まれながら育ったという高木さん。四歳でピアノを習い始め、小学校に入る頃にはすでに、五つの和音を聴いて、その音をすべて言い当てることができたとそうです。「中学三年のとき、山本二郎先生（現洗足学園教授）との出会いが、本格的にピアノの道に進んだきっかけですね。先生からは、いかに気持ちを込めて音楽表現するかを学びました。」

洗足学園の音楽科から、東京の同大学音楽部ピアノ専攻に編入し、首席で卒業。そ

の後、ミュンヘン国立音大大学院に留学し、数多くの名ピアニストを育てたことで知られるクラウス・シルデ教授に師事します。「シルデ先生は、時代背景を踏まえたうえで、の演奏を重視しました。例えば、一口にブラームスといっても彼がその時代にどんな状況で、どんな気持ちでその曲を書いたかということを感じてははいけませんよ。」また、音楽教育にも日本との違いが見られるといいます。「向こうでは物真似ではなく、独創性が重んじられます。つまり、自分なりに作曲家の意図を消化することが必要とされるんです。」

留学中は学生寮に住んでいたという高木さん。「寮にはドイツ人の他、イタリア人や中国人も住んでいて、よく共同炊事場で一緒に食事を作ったりしましたね。それから、一流の演奏は頻りに聴きに行きました。学生はわずか五、六百人ですがオーケストラが聴けるんです。ポリーニでもたったの二千人。日本とは大違いなんです。」

高木さんのこれからの目標は、もっといろいろな曲を勉強して音楽の幅を広げ、より多くの人々に聴いてもらうこと。「私にとっての音楽とは、『一生かかって追求する価値のあるもの』ですね。」将来を見つめたその目は、輝きに満ちていました。これからの一層の活躍に期待しましょう。

※ポリーニ イタリアの世界的ピアニスト



CONTENTS

12月号もくじ

- 表紙 撮影/赤羽仁諭(富山県写真家協会会員)
- 1 とやま遊学感/富山県新川文化ホール
- 2 ひとアズとやま/高木栄子さん(ピアニスト)
- 2 クローズアップ・県政の動き
- ① 富山 福岡便航
- ② 技能五輪とやま94開催
- ③ 国際家族年記念事業「伝承遊び大集合」
- 4 特集/県政この一年
- 8 PINUPPTOYAMA 写真/谷川昭夫(富山県写真家協会会員)
- 10 詩/山本哲也(富山現代詩人協会会員)
- 10 ふるさとみてある記(下村)
- ① 越中舟橋ぼんどり太鼓
- ② 舟橋会館
- ③ 空き缶リサイクルグループ
- 12 エッセイ/大久間喜一郎(万葉歴史館館長)
- 13 富山県における主要プロジェクト
- 14 とやま都市MIRAI事業
- 16 県からのお知らせ
- 16 暮らしのアドバイス
- 表3 とやまの祭事記/歳餅神事(立山町)

新しい文化の風を感じてください

富山県新川文化ホール

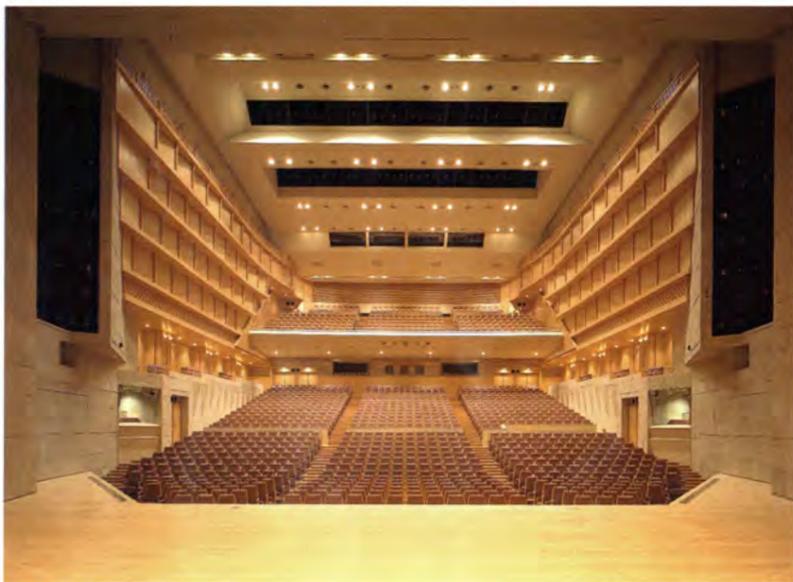
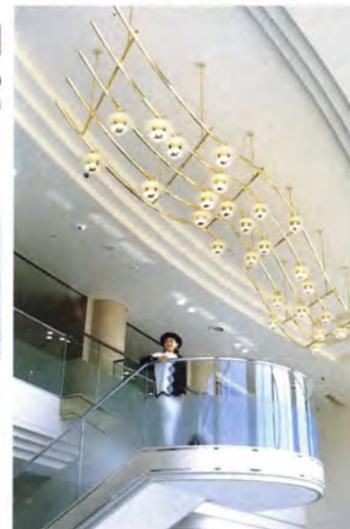
レポーター:富山国際大学 城戸早苗さん
(表紙の人)



南国の香りただようクリスタルガーデン



五線譜を形どったおしゃれな照明



風格がただよう大ホール



気軽に鑑賞できる展示室

今回私が訪れたのは、この十一月一日にオープンした富山県新川文化ホールです。「ミラージュホール」の愛称が示すとおり、横長の外観はまるで海上に現われた盛気楼のよう。きれいな遊歩道を歩き、建物に近づくにつれて、その大きさに圧倒されてしまいます。南国を思わせる熱帯樹やせせらぎに縁どられた「クリスタルガーデン」を抜けると、立山をイメージしたという、やまなみロビーのゆったりとした空間が広がります。

二階ロビーの天井にある五線譜をかたどった照明設備は、とってもおしゃれで目を引きます。大ホールの客席数は約千二百。フル編成オーケストラや大規模な舞台装置を必要とするオペラ、ミュージカルなどの公演に対応できるように設計されています。座席のすわり心地はともよく、リラックスタイムを満喫できるそうです。面白いのは、ホールの壁面に備えつけられている残響可変装置。開いたり閉じたりして残響音を調節することによって、コンサートの種類を問わず、臨場感あふれる生の音を身近に感じることができるといわれています。また、演劇や舞踏、歌舞伎、小演奏会が行える、座席数三百席の小ホールも設けられています。もちろん大小の練習室やリハーサル室も完備。

その他、茶道・華道・日舞などの練習や発表ができる和室。優れた芸術作品に出会える常設展示室、最新視聴覚機器を装備した会議室など、まさに芸術文化の拠点にふさわしい新川文化ホール。みなさんもここで新しい文化の風を感じてみませんか？



■電鉄魚津駅から東南へ約2km、JR魚津駅から南へ約4km
■北陸自動車道魚津ICより西へ約2km
■国道8号線、大光寺交差点から東に300m

九州地方との交流に弾み

富山ー福岡便が就航



乗客一人ひとりに富山の土産が手渡される

十一月一日、富山空港四番目の国内路線となる富山ー福岡便が就航し、その記念式典が富山空港エプロンで行われました。

便訪問団の団長として福岡に出発する宝賀副知事に「富山の名水」の目録が手渡されました。その後、知事をはじめ富山空港を発展させる会の久保田照雄会長らがテープカットし、就航を祝いました。

初日は、富山着、富山発ともほぼ満席となる好調な滑り出しを見せた福岡便。九州地方との交流に弾みがつくものと期待されます。

富山ー福岡便	
運行回数	1日1往復
所要時間	富山ー福岡間 1時間40分 福岡ー富山間 1時間20分

十一月一日、富山空港四番目の国内路線となる富山ー福岡便が就航し、その記念式典が富山空港エプロンで行われました。到着便を待つて行われた式典には、中沖知事、山田隆英エア・ニッポン社長のほか、県内経済界、航空業界の代表ら約五十人が参加。まず山田社長が「富山は北陸のビジネスの拠点であるとともに観光資源にも恵まれており、路線発展に期待を寄せている」とあいさつ。中沖知事は、「九州の玄関口である福岡空港との路線開設によって、富山と九州との経済、文化、観光の分野で交流が進み、さらに東アジアとの交流も促進される」と祝辞を述べました。続いて、県内のミス四人から乗客代表、初便機長らに花束が、また中沖知事から初



テープカットで就航を祝う関係者



▲祝辞を述べる中沖知事



▲福岡に向かう宝賀副知事ら訪問団一行

昔ながらの遊びを

親子で体験

国際家族年記念事業「伝承遊び大集合」

今年、国際家族年。もう一度家族のありかたを考えようと国連が採択したもので、これを記念して、いくつかの催しが太閤山ランドのこどもみらい館で行われました。七月には「ファミリーコンサート」、九月には「おもちゃフォーラム in TOYAMA」、そして記念事業の最後を飾ったのが、十一月三日から二十七日まで開催された「伝承遊び大集合」です。

知ってもらおうと行われたこの催しは、連日多くの家族連れなどで賑わいました。会場には、福島県の会津唐人凧や江戸凧など全国の凧約百点をはじめ、メンコ三千枚、コマ七百個が展示されたほか、コマを原木から作る実演コーナーや、紙鉄砲などの製作体験コーナーもありました。また、越中だいまん凧の会の方を講師に迎え、凧を作って実際にあげるといふ企画もあり、太閤山ランドは親子の楽しそうな歓声に包まれていました。



▲「こうやって作るんだよ」(紙てっぽう・割りばしてっぽう作り)



▲「ちゃんとあげばいいな」(凧作り)

▲親子でコマ作り

若い技能者の技の祭典

技能五輪とやま'94開催



「ぶつけよう君の真剣！」をスローガンに、「第三十二回技能五輪(とやま大会)」が、十一月四日から七日までの四日間、高岡市のポリテクセンターほか五会場で開催されました。この大会は、若い技能者に努力目標

を与え、わが国産業界の技能水準を高めるために毎年東京都や千葉県で開かれていたもので、今回が初の地方開催となりました。本大会の特色としては、富山の主要産業である「アルミサッシ施工」を実施したことや、デモンストラーションとして「井波彫刻」「林業五輪競技」を紹介したことがあげられます。また、中国遼寧省、韓国江原道、ロシア沿海地方からも選手を招き友好競技も行われました。

選手代表の堀田美華さんの選手宣誓で幕をあげ、全国から集まった四百十四名の選手が二十七職種に分かれて、日頃鍛えた技を競い合いました。県勢選手では、広告美術で織田静江さんが、調理で竹森敬さんがそれぞれ二十二年ぶりの金メダルに輝いたのをはじめ、銀メダル七人、銅メダル二人、敢闘賞五人と、八職種で十六人もが受賞するという活躍が見られました。金メダルの二人は、来年フランスのリヨンで開催される世界大会に出場が決定。大いに活躍が期待されます。



競技に取り組む選手(建具競技)

表彰式で喜びをあらわす富山県選手(調理競技)

第32回技能五輪とやま大会 閉会式

県政の動き

H6. 10月11日~11月10日

- 10月11日 平成6年度富山県青年・女性海外派遣事業結団式
- 10月13日 第10回富山県育樹祭
- 10月15日 特産王国とやまフェスティバル(~16日)
- 10月16日 とやまチャレンジウォーク'94
- 10月18日 富山県公共交通活性化シンポジウム
- 10月20日 高齢者雇用促進大会
- 10月22日 伝統医薬シンポジウム富山'94
- 10月24日 いまきとやま第7回健康と長寿の祭典(~25日)
- 10月26日 知事のまちなまり(大島町・下村)
- 10月31日 新川文化ホール開館記念式典
- 11月1日 第22回中部地方更生保護大会
「とやま川の年」記念シンポジウム
富山ー福岡便開設記念式典
- 11月2日 平成6年度富山県功労表彰式
- 11月4日 第32回技能五輪(とやま大会)
- 11月10日 知事のまちなまり(小杉町)

県政この一年

▲富山インターハイ開幕(7月31日～8月24日)



今日世界は、各地で起こる地域紛争や地球環境問題など、様々な課題に直面しています。国内においても、景気は幾分回復の兆しが見られるものの、依然として厳しい状況にあります。

こうしたなか、わが国では、景気回復などの経済的施策に加え、国民が真の豊かさを実感できる社会の構築を目指し、様々な取組がなされています。

豊かさや暮らしやすさを全国トップレベルの評価を受けるようになった富山県でも、今後さらに実りある成果を加えていくために、「人材立県」「生活立県」「国際立県」の三つの立県構想を掲げ、二十一世紀に向けた県づくりを進めています。ここでは、「明日を拓く人づくり」「魅力ある郷土づくり」「活力ある産業づくり」の三大政策に沿って、この一年を振り返ってみましょう。

明日を拓く人づくり

◆健康・福祉の増進

福祉の中核を担う総合福祉会館(仮称)の整備に向け、検討を進めたほか、セーナー苑の整備計画の策定を支援しました。

また、県内で初めて整備される精神障害者通所授産施設「あゆみ苑」がほぼ完成し、来年度から開所する予定です。さらに、切迫早産に係る医療費の公費負担を実施しました。

健康づくりについては、とやま健康村(仮称)建設に向け、地権者との間で用地交渉がまとまりました。また、中小企業従事者のがん検診機会の拡大を図ったほか、歯科保健医療センターにおいて、新たに休日夜間歯科診療を実施しました。

また、県民すべてが健康で豊かな人生を過ごすことのできる長寿社会を目指して、高齢者保健福祉計画を策定し、高齢者保健福祉施策を総合的に展開しています。

皇太子同妃両殿下のご臨席のもと開催された富山インターハイでは、県内選手たちの活躍をはじめ、高校生たちが一人一役運動を積極的に展開し、富山らしい心温まる大会として大成功をおさめました。また、県高岡総合プールのオープンをはじめ、総合運動公園陸上競技場の夜間照明施設や、立山ジャンプ場(スキージャンプ場)の整備など、県営スポーツ施設の充実を図りました。

◆科学・文化の振興

県立研究機関を利用した親子科学研究室を開催したほか、野外散策を中心としたふるさと発見科学創造体験事業を実施し、子供たちの科学する心を育みました。

また、県立大学の大学院を開設しました。

文化の振興については、平成八年度開催の国民文化祭に向け事務局体制を強化しました。

また、県東部の芸術文化の中核的施設として富山県新川文化ホールが完成したほか、全国で初めての県立芸術公園である利賀芸術公園が開園しました。また、下保昭作品展示の美術館建設に向けての諸準備を進めています。

その他、県の文化振興施策のよりどころとなる富山県文化プランを策定しました。

◆若者と女性の力を社会に

とやま女性総合センター(仮称)について基本設計に着手しました。また、青年、女性の海外派遣事業については、ドイツおよびイタリアに派遣し、国際交流を一層深めました。

人口問題については、県下四か所で人口問題シンポジウムを開催し、県民の人口問題に対する関心を高めました。

◆長寿・余暇社会への対応

富山県地域福祉基金を活用し、いきいき長寿財団の事業や老人クラブ活動を支援しました。

また引き続き、ゆとり名人の発掘事業を実施し余暇対策を推進しました。



▲皇太子同妃両殿下ご来県(7月31日～8月2日)



▲人口問題シンポジウム(入善町・10月1日)

◆生涯学習の推進

第六回全国生涯学習フェスティバル「まなびピアとやま'94」では、過去最多の事業が展開され、学習県富山らしい県民総参加の祭典として成功をおさめました。

学校教育については、県立高校に福祉コースをさらに三校に設置するとともに、県内私立高校すべてに英語指導助手(AET)を配置するなど私学の振興にも努めました。



▲高岡総合プールオープン(5月30日)
▲県陸上競技場でJリーグナイトゲーム開催(6月15日)



▲新川文化ホールオープン(11月1日)



魅力ある郷土づくり

●快適な暮らしの実現

市町村のゴミ減量化・再生利用事業に対する助成に取り組みました。また、高規格消防車の導入への支援、常備消防の広域化について引き続き取り組みました。

その他、最新の機能を備えた県警察本部庁舎が完成し、より高レベルで県民生活の安全の確保が図れるようになりました。

●魅力ある地域づくり

新たな国土の軸を考えるシンポジウム等を開き、日本海国土軸や日本中央横断軸構想の推進を図るとともに、飛越地域

主なできごと(平成5年12月～平成6年11月)

- 12月2日 12月定例県議会(～16日)
- 12月4日 エイズシンポジウムin富山
ゆとり名人認定式
- 12月13日 マリンジャンボ「r」就航記念式典
- 12月19日 立山山麓スキー場オープニングフェスティバル
- 12月21日 流杉老人ホーム創立30周年記念祭
- 1月14日 神通川左岸流域下水道新湊浄化センター(仮称)起工式
- 1月17日 雪見のひろば・スノーアートとやま'94
点灯式
- 1月21日 東京ドームふるさとフェア'94
- 2月1日 「うるおい環境とやま賞」顕彰式および「うるおいある環境づくり絵画」表彰式
- 2月4日 省資源・省エネルギー運動富山県民大会
- 2月5日 「北方領土の日」記念講演会
- 2月11日 第4回花と緑の冬のフェスティバル
- 2月17日 農業振興賞表彰式
- 2月25日 新たな国土の軸を考えるシンポジウム
- 2月26日 平成6年度予算案発表
らいちょうハレー雪の祭典(～27日)
富山県コンプス計画第12回ティーチン(～27日)
- 3月2日 ねたきり防止国際セミナー
- 3月3日 第1回児童環境づくり推進協議会
- 3月4日 3月定例県議会(～25日)
- 3月7日 第1回富山県総合福祉会館(仮称)基本計画策定委員会
- 3月18日 富山空港ジェット化10周年記念行事
- 3月19日 TOYAMA NOW IN 原宿'94(～24日)
- 4月6日 春の全国交通安全運動出発式
- 4月8日 富山県立大学入学式
- 4月10日 いきいき富山観光キャンペーン
'94オープニングフェスティバル
- 4月19日 農業技術センターバイオ棟竣工式
- 4月27日 第45回植樹祭
- 4月29日 銀座みゆき通りチューリップカーペット
- 5月1日 海王丸フェスティバル(～5日)
- 5月3日 立山山麓グリーンドキュメント(～5日)
波谷パラダイス-花の祭典-(～5日)
- 5月8日 「看護の日」ふれあいトーク
- 5月12日 宮崎漁港臨海道路宮崎の崎橋開通式
- 5月19日 平成6年度「とやま賞」贈呈式
- 5月20日 警察本部庁舎竣工式
- 5月23日 富山県地域づくり団体ネットワーク協議会設立総会
- 5月23日 キてみてーくTOYAMA(～26日)
- 5月27日 「まちのかおづくり事業」視察会
- 5月30日 富山県高岡総合プール竣工式
消費者月間記念富山県大会
- 5月31日 知事のまちなまり(井口村・城端町)
- 6月4日 第49回県展(～10日)
- 6月15日 県陸上競技場でJリーグのナイトゲーム初開催
- 6月16日 6月定例県議会(～29日)
- 6月26日 生涯学習フェスティバル100日前イベント
- 7月1日 林道「小川線」開通式
- 7月2日 第4回世界ポスター・トリエンナーレとやま
- 7月10日 環日本海インターハイ親善交流大会(ウラジオストク)
- 7月15日 富山-ウラジオストク便就航
- 7月16日 はたらく女性の集い

における日本の心のふるさとゾーン整備計画を策定するなど、県際交流を進めました。

また、全県域公園化構想を推進するため、その核となる中央植物園の展示温室等の整備を進めました。さらに、平成八年度の全国都市緑化フェアに向け実行委員会を設けるなど、諸準備に取りかかりました。

●県土の保全と活用

神通川左岸流域下水道新浄化センター(仮称)の建設に着手したほか、小矢部川流域下水道について、区域内の全市町村で本年度内の供用に向け建設を進めるなど、全県域下水道化に積極的に取り組みました。

また、立山カルデラ砂防総合展示施設の建設に向け、設計競技を実施しました。さらに、百瀬ダムの建設に着手するなど、河川の総合開発事業を推進しました。

その他、置県百一周年にあたる今年を、「川の年」とし、記念事業を開催して、川について考えるスタートの年としました。

●交通・情報通信体系の整備

北陸新幹線の、石動・金沢間および糸魚川・魚津間の建設工事に引き続き取り組みました。

道路の整備については、東海北陸自動車道の上平・福光間が一部着工したほか、能越自動車道の小矢部・福岡間の工事を引き続き進めました。

活力ある産業づくり

■新世紀への産業展開

企業の事務所等が立地する業務拠点地区(オフィス・アルカディア構想)の具体化に向けての諸準備に取り組みました。

また、農業技術センターのバイオ棟が完成し、新品種の開発等の研究を開始したほか、世界のチューリップ原種の保存と活用を図るため、チューリップ遺伝資源セン

ジの運営を支援し、林業人づくり基金の拡充を図りました。水産業については、とやま漁業担い手センターの設置を支援しました。

■工業の振興

工業技術センターにおいて、先端技術の開発に取り組んだほか、デザインウエーブ'94イン富山の開催を支援するなどデザイン振興を図りました。

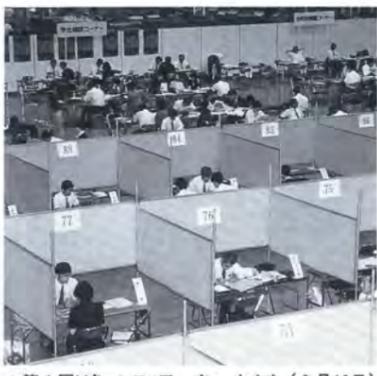
また、小矢部・砺波地区の繊維工業に加え、新たに富山地区の機械工業、高岡の鋳物業などに対し、特別融資等の助成



▲いいき富山観光キャンペーン(4月10日)



▲農業技術センターバイオ棟完成(4月19日)



▲第1回Uターンフェア・イン・とやま(8月13日)

また、富山空港二番目の国際路線となる、富山・ウラジオストク便、四番目の国内路線となる富山・福岡便が相次いで就航しました。

海上交通については、伏木外港の建設や新湊地区公共マリーナの整備を進めました。

この他、光ファイバー等の高度情報通信基盤の整備・活用について、調査に取り組みました。

●国際化時代への対応

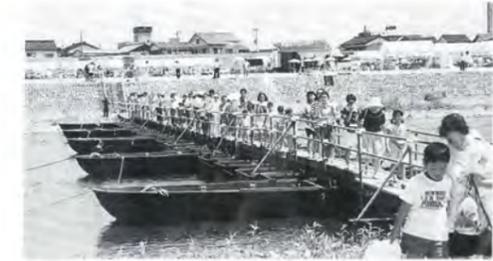
富山県・遼寧省友好県省締結十周年を記念して、友好代表団の相互派遣を行ったほか、同省で日本語を学ぶ学生に対し、奨学金を送りました。

また、遼寧省やロシア沿海地方、韓国江原道から研修生や留学生を受け入れたほか、環日本海児童書画展を開催するなど、積極的な交流を行いました。

その他、国際協力の総合的かつ体系的な計画として、富山県国際協力プランを策定しました。今後、このプランに基づき、世界に開かれ貢献する富山県づくりを進めていきます。



▲富山1ウラジオストク便就航(7月15日)



▲「とやま川の年」リバーランドフェスティバル(8月6日~7日)



▲富山警察本部庁舎完成(5月20日)

▲遼寧省友好代表団来県(9月6日)

■農林水産業の振興

ガット・ウルグアイ・ラウンドに対応し、農業農村対策連絡会議を設置し、今後の農業のあり方について検討を進めます。

また、富山県造林公社を富山県森林公社に改組し、その中に新たに設置された林業担い手センターおよび林業カレッ

ター(仮称)の建設に着手しました。

富山湾の深層水については、水産分野での利用研究施設が完成し、来年四月から増養殖研究を開始します。

を行うとともに、新分野進出等円滑化法により、中小企業の新分野進出を支援しました。

■商業・サービス業の振興

映像により各種情報を提供する、商店街の映像情報化推進事業を行い、魅力ある商店街づくりに取り組みました。

また、引き続き、いいき富山観光キャンペーン、ようこそ富山キャンペーンを実施したほか、韓国国際観光展(ソウル)、世界リゾート博(和歌山)、世界祝祭博(三重)で、観光と物産の宣伝活動を行いました。

■雇用と勤労者福祉

女子学生雇用セミナーを新たに行い、女子学生者の雇用の安定を図りました。また、Uターンフェア・イン・とやま等の開催により、Uターンの促進にも努めました。

地方開催第一号として十一月に開かれた技能五輪全国大会は、競技種目等に富山らしさが大会として成功をおさめました。その他、勤労者総合福祉センター(B型)の基本設計への着手や、雇用促進住宅の建設など、勤労者福祉の増進に努めました。

施策の実施のために

県民のみなさまの声を県政に反映させるため、県民相談ファックスを設置しました。また、首都圏から女性アナウンサーを招いて、「キミとTOYAMA」を開催し、富山の魅力を感じ大いに語ってもらいました。

その他、県内の公的施設等を紹介したガイドブックの作成に取り組みました。この本は来春全世界に配布する予定です。なお、組織機構については、新たに企画部、生活環境部、農林水産部を新設したほか、計画課、日本海政策課など、新たな行政ニーズに対応したセクションを設けました。

主なできごと

(平成5年12月~平成6年11月)

- 7月22日 富南大橋開通式
- 7月31日 平成6年度全国高等学校総合体育大会 夏期大会(〜8月24日)
- 8月5日 皇太子同妃両殿下ご来県(〜8月2日)
- 8月6日 オレゴンウィーク訪日団コンサート
- 8月6日 「とやま川の年」リバーランドフェスティバル(〜7日)
- 8月13日 第1回Uターンフェア・イン・とやま
- 8月22日 中小企業融合化推進大会 「融合とやまサミット」
- 8月23日 世界リゾート博・和歌山(富山県の日)
- 9月2日 ワールド・パートナーシップ・フォーラム 富山セミナー
- 9月6日 遼寧省友好代表団来県
- 10月1日 第1回人口問題シンポジウム(入善町)
- 10月6日 全国生涯学習フェスティバルまなびピア とやま'94(〜10日)
- 10月8日 富山県利賀芸術公園開園式
- 10月13日 第10回富山県育樹祭
- 10月15日 特産王国とやまフェスティバル(〜16日)
- 10月26日 知事のまちなまり(下村・大島町)
- 11月1日 新川文化ホールオープン
- 第22回中部地方更生保護大会
- 「とやま川の年」記念シンポジウム
- 富山一福岡便就航
- 11月4日 第32回技能五輪全国大会
- 11月10日 知事のまちなまり(小杉町)
- 11月11日 一日部長辞令交付式
- 11月16日 天神山トンネル貫通式
- 11月17日 (財)とやま国際センター設立10周年 記念式典
- 11月19日 ゆとり名人認定式
- 11月21日 知事のまちなまり(入善町)
- 11月28日 一日部長による一日庁議



▲TOYAMA NOW in 原宿'94(3月19日~24日)



▲キミとTOYAMA(5月23日~26日)

一刷毛のしぐれ雲が
払いのけられて

軒端まで垂れ籠める
真珠の陽射しに

松露色に輝く
珠たちの肌

焙烙ほうろくに投げ込まれる前の
つかの間の休息

かれらは
いかなる償いを残そうとするのか

淡い滴に濡れながら
一日の終りを待っている

熱かった夏を懐かしむかのように



舟橋村

ふ・る・さ・と
み・て・あ・る・記

村おこしを担う 太鼓のエネルギー

越中舟橋ぼんどり太鼓振興会

「太鼓に関しては全くの素人が二十四名集まって、今年の四月から活動を始めたんです」と語るのは、越中舟橋ぼんどり太鼓振興会代表の前原英石さん。

これまで舟橋村の祭りには、勇壮さや賑やかさがなかった。そこで、村に活気をもたらそうと、商工会青年部のメンバーが中心となりこの会を結成したという。「太鼓を打つときのエネルギーが、舟橋村の村おこしの気概を示すのにはいいのではという思いから、みんなでチャレンジしようということになったんです」と前原さん。ちなみに、会の名前は、農民が身につけていた蓑をこのあたりで「ぼんどり」と呼んでいたことからきているそうだ。

「太鼓を打つくらい、何とかなると思っていたんですけど、実際始めてみると音を一つに合わせるのがいまだに難しく」と苦笑する前原さんだが、十一月三日に開かれた舟橋村文化祭で、初めて日頃の練習の成果を立派に披露した。会場になった舟橋会館大ホールには、小気味よいテンポの太鼓の音がいつぱいに広がり、訪れた村民はその迫力に酔いしれた。「何とか無事にやり終えてホッとしましたね」と前原さん。



▶ぼんどり太鼓代表
前原英石さん



▶勇壮な演奏風景

老若男女が広く集える空間

舟橋会館



▲松倉一雄館長

村民の豊かな生活環境の構築を目指している舟橋村に、今年の四月「舟橋会館」がオープンした。



▶明るい日差しあふれるロビー

地道な活動で大きな成果

空き缶リサイクルグループ



▶左から、松頭さん、竹島さん、夏野さん、吉瀬さん、長井さん

「最初は、一軒一軒家庭を訪ねて、アルミ缶を回収していたんですよ」と語るのは、舟橋村婦人会会長の竹島ユリ子さん。竹島さんは婦人会のメンバー五人は、資源の再利用に積極的にかかわっているという、三年前からアルミ缶のリサイクルに取り組んでいる。「婦人会で去年の春に、村内十八か所のゴミ置場にアルミ缶とスチール缶を分別するためのポストを置いたんです。今は、このポストの中の空き缶を再チェックしながら回収しています」と竹島さん。また、ちらしを配布して、空き缶の分別の徹底や、アルミ缶をつぶして出してもらうことを村民に呼びかけているという。

村でも、今年の春、空き缶を入れると図書券引換チケットが出てくる機械を小学校に設置。リサイクル意識が向上するよう努めるなど、村をあげてのリサイクル活動を展開している。こうした活動によって、今では缶の分別はもちろん、投げ捨てなども見られなくなってきた。「私たちは、社会にリサイクルシステムができるような環境に少しでも近づきたいんですよ。」

この地道な活動がやがて実を結び、社会全体にリサイクルの輪が広がっていくことを祈りたい。



▶舟橋会館

舟橋村の概要

・人口 1,635人 ・面積3.46km² (平成6年10月1日現在)

面積・人口ともコンパクトな村。富山市の中心部へは電車で10分、車で20分で行くことができる。それに加え、静かな田園風景と立山連峰が眺望できるという恵まれた環境にある。

稲作を中心とした農業が村の主力産業。近年は良質なとやま肉牛の研究生産に励んでいる。



『とやま都市MIRAI計画』 調和と品格のある都市空間を目指して

この計画は、21世紀における富山県・富山市の産業・文化を先導するとともに、富山駅北地区に調和と品格のある新都心を形成しようとするもので、昭和六十三年度から整備を進めています。



▼駅から見たブルーバール

街づくりの目標

● **品格があり、ゆとりがある街づくり**
富山市の顔でもある駅周辺市街地に、ゆとりのある道路空間や緑地などを確保し、落ちついた街並みを形成します。

● 都市機能の充実による中心市街地の強化

商業・業務施設の充実を図るとともに、就業の場を確保し、若者にとっても魅力ある都市空間を形成します。

● バランスある土地利用

既存の商業・業務施設は、富山駅南地区を中心に形成されていますが、駅を中心とした市街地発展の観点から、駅北地区についても都市基盤を整備し、賑わいのある市街地を形成します。

新都心の骨格、 「ブルーバール」と「カナルパーク」

☆ブルーバール

北口駅前広場から始まる新都心のシンボルロード。四車線の車道のほか、西側に三十メートル、東側に十メートルの歩道を設けた、総幅六十メートルの道広場です。歩道は高木の並木で富山らしさを演出。子供たちの遊びの空間として、またイベントの場として水辺を導入します。さらに、街全体が広場・公園になるように、沿道施設との一体性も考えた空間形成を進めます。

☆カナルパーク

北口駅前広場から延びるブルーバールは、多目的広場を経由しカナルパークへと達します。この公園は、運河の跡地を活用し、自然と人が調和した親水環境を創出して、いわば新しい都心のシンボリックなオアシスとなるものです。ここには、現在生息する水鳥等の聖地「バードサンクチュアリー」や、運河が一望できる展望広場を設け、リラクゼーション時間を過ごせる水辺公園として整備します。これら道路や公園などの整備にあわせ、情報・文化施設、スポーツ・レクリエーション施設等が充実されることにより、富山の未来を先導する新しい都市空間が生まれるものと期待されます。

セイ エ ツ

ツヌガアラシの話



高岡市万葉歴史館館長
大久間喜一郎

万葉歴史館の企画展示「古代日本における中国文化の摂取」

想を加えたもので取るに足りない説である。またその地を、角有る人が来た故に角鹿と言ったというのには、まさに地名起源説話と言うべきであって、風土記などに多く見える地名起源説話なるものが、全部と言ってよい程こじつけであることを思うと、「額に角有る人」というのも角付きの兜を見誤ったなどという解釈は予測しないまでも、ツヌガアラシの名前さえも承知の上で、「角の有る人」と解釈して、角鹿の地名起源の伏線としたとも考えられる。そのように推察される理由は、実はツヌガアラシの名に干斯岐阿利叱智干岐という別名をわざわざ添えているからである。ツヌガは新羅や加羅国などでの最高官位を示す名であると考えられ、シトは人名の下に付ける敬称であろうかと言われている。

大陸から渡来する文化の日本海側の受入口は、ツヌガアラシの立ち寄った長門とか出雲国とか敦賀とかであったことが、この話によって知られるのである。この他にも渤海使の来航ということも勿論有るが、それはもつと後のことである。このツヌガアラシの渡来及び帰国の記事に続いて、垂仁天皇の三年に新羅の王子天日槍(古事記では天之日矛)が来朝したことを日本書紀は記している。この日槍(日矛)は但馬国に根を下ろし、名高い田道間守を歴史に留めたりして子孫は大いに繁栄した。この日槍とツヌガアラシの伝承はいろいろな点で混同されているのである。

(1)穴門：今の山口県の関門海峡に面するあたり
(2)渤海：八世紀初頭、現在の中国東北地方におった国
(3)田道間守：常世の国から不老不死の木実を持ち帰ったという伝説のある人物

●お知らせ●

立山博物館「三企画展」
「山道具は語る」の開催について
立山博物館では、左記の要領で三企画展「山道具は語る」を開催します。



【会期】平成6年12月1日(木)～平成7年1月31日(火)
【開館時間】午後9時30分～午後5時
【入館】午後4時30分まで
【場所】立山博物館 企画展示室
【休館日】月曜日および休日の翌日
(ただし、12月24日は臨時開館)
年末年始12月26日～1月4日は休館
立山博物館 中新川郡立山町芦峰寺93-1
☎0764・81・1216(代)

「みんなていけん」開催

富山県立近代美術館では、これまで「わたしたちの壁画展」という富山県内の幼稚園、小学校、中学校、特殊教育学校のごもたちの手による作品を紹介する展覧会を開催してきました。「みんなていけん」展は、「わたしたちの壁画展」の成果を受け継ぎ、美術館の高く広い展示空間をごもたちの自由な制作発表の場とした展覧会です。ごもたちの限りの可能性、成長の過程を見る絶好の機会となることでしょう。
●会期 平成7年1月5日(木)～2月12日(日)
ただし12月28日から1月4日は休館

●募集●

あなたの声を県政に
県政モニター募集

富山県では、県政に対するご意見やご要望を、広く県民の皆さんからお聞きするため、県政モニターを募集しています。
●モニターの職務 県政に関するアンケートに回答していただくほか、県政全般にわたって、建設的な意見・要望などを随時提案していただきます。
●募集人員・任期 50名・2年間(平成7年4月から)
●応募資格 県内に居住する満20歳以上で県政に関心をお持ちの方。(公職選挙法による公職者、公務員及び県政モニター経験者は除く)
●応募方法・応募先
はがきに下記の記入例の要領で応募ください。
●締切 平成7年1月31日
(当日消印有効)
●選考結果 県政モニターになった方には、3月下旬に本人宛にお知らせします。応募者多数の場合は、市町村・年齢・職業・性別などを考慮して選考します。
●問合せ 県庁広報課
☎0764・44・3133

Form for county government monitor application with fields for name, address, phone, and occupation.

「県政モニター」に応募します
1 職業区分・勤務先
2 各種モニター経験の有無
3 県政モニター応募の抱負(50字程度)

●観覧料

一般 200(160)円
高校・大学生 160(100)円
小・中学生 100 (60)円
()内は20人以上の団体料金
●会期中は、映画会や解説会などイベントもあります。詳しくは富山県立近代美術館
☎0764・21・7111までお問い合わせ下さい。

平成7年度
富山県立保育専門学院学生募集

試験科目 国語・英語・リズム運動・面接
試験日 平成7年2月1日(水)・2日(木)
願書受付 平成7年1月9日(月)～19日(水)
問合せ・願書提出先
〒930 高岡市中川上町5-1
富山県立保育専門学院
☎0766・22・3785

平成6年
工業統計調査の実施について

通商産業省では製造業を営む事業所を対象に平成6年工業統計調査・石油等消費構造統計調査を実施します。
●調査は全国一斉に行われ、わが国の工業、エネルギー消費の実態を明らかにし、今後の国や地方自治体の産業振興など、さまざまな計画や施策の基礎資料となる重要な調査です。みなさまのご協力をお願いします。
●調査期日 平成6年12月31日現在
●調査方法 調査員証を携帯した調査員が各事業所を12月下旬頃に訪問し、調査票の配布・収集をします。
なお、収集された調査票の内容は、統計作成以外の目的には使用されません。

第12回まちづくり標語募集

(1) テーマ 魅力あるまちづくりをすすめる、愛着と誇りの持てるわがまちをつくらうための合言葉を考えてみましょう。
(2) 募集対象 一般の部と児童・生徒の部(中学生以下)の2部門あります。
(3) 応募方法 ハガキに住所・氏名・電話番号・年齢・性別・職業(学校名学年)・応募部門作品を記入して下さい。ハガキ一枚につき、1点限りとし、1人何点でも応募できます。
(4) 募集期間 平成6年12月31日まで
(5) 応募先 〒102 東京都千代田区紀尾井町3-32(財)都市計画協会内 まちづくり月間実行委員会 標語募集係 ☎03・3262・3491
(6) 問合せ 県庁都市計画課 ☎0764・44・3346

ねいの里行事
「春の七草をさがそう」

お正月の七草粥に入れる春の七草を探してみませんか。
日時 12月18日(日) 9時～12時
雪が積もった場合は中止。多少の雨や雪でも行います。
場所 自然博物館ねいの里(婦中町音川)
対象 小学生以上の方ならどなたでも

●みなさんの相談窓口●

●県政について
県民相談室 富山市新総曲輪1-7(県庁内)
☎(0764)31-4111(代)
31-3131(県民相談電話)
高岡地方県民相談室 高岡市赤祖父211(総合庁舎内)
☎(0766)21-9411(代)
魚津地方県民相談室 魚津市新宿10-7(総合庁舎内)
☎(0765)24-5311(代)
砺波地方県民相談室 砺波市幸町1-7(総合庁舎内)
☎(0763)33-5151(代)
●物価ダイヤル
物価に関する苦情や相談があればお気軽にお電話ください。☎(0120)16-7400(県庁県民生活課内)
●消費生活については
消費生活センター
富山市安住町7-18 安住町第一生命ビル内
(一般相談は) ☎(0764)32-9233
(金融相談は) ☎(0764)32-3252
消費生活センター高岡支所
高岡市本丸町7-1 本丸会館内
☎(0766)25-2777
●交通事故については
富山県交通事故相談所東別館1階
☎(0764)31-4111 内4400
●相談110番 相談
家庭問題・悪質商法・覚せい剤など、どんな相談にも応じます。
☎(0764)42-0110
●シルバー110番
高齢者や家族の心配ごと、悩みごとに富山県高齢者総合相談センター
富山市舟橋南町5-14 社会福祉会館内
☎(0764)41-4110

●県からのホットニュース●

見て、聞いて、ご意見をお寄せください。
●テレビ広報
■チューリップテレビ 毎週土曜日 AM9:30～9:45
「志の輔のふるさとトーク」
■富山テレビ 毎週日曜日 AM9:00～9:30
「112万人のひろば-クイズ/フォーカス・イン」
■北日本放送 毎週日曜日 AM11:00～11:30
「こんにちは富山県です」
1/8 日本から世界の遺産へ
～五箇山合掌集落～
1/15 楽しさ満載富山の冬
1/22 私たちのふるさとづくり～山田村～
1/29 夢膨らむ工業技術
●ラジオ広報
■FMとやま「ふれあいホットライン」
県内各地からホットな話題をクリアなサウンドでおとどけます。
毎週月～金曜日 AM9:50～9:55
●新聞広報
■北日本、富山、読売、北陸中日、朝日、毎日
毎月第2、最終土曜日
「県からのお知らせ」

●平成7年1月街頭献血日程●

Table with columns for date (日曜日), location (献血場所), and time (時間). Rows include locations like 富山市役所前, 砺波市役所前, 高岡市役所前, etc.

*都合により変更する場合がありますので、当日の新聞・テレビの街頭献血案内等でご確認ください。
◎富山県赤十字血液センターでは、毎土曜日及び第2・第4日曜日も開所し(祝祭日除く)、献血を受け付けています。(受付時間9:00～16:45)
富山県赤十字血液センター
富山市飯野26-1 TEL (0764) 51-5555

●啓発●

12月は骨髄バンク推進月間です

全国には白血病や再生不良性貧血などの難病に苦しむ多くの患者がいます。これらの疾患は「骨髄移植」を行うことにより、健康を取り戻すことができます。骨髄を提供してもよいとお考えの方は、骨髄バンクへの登録をお願いします。
問合せ 県庁医務課 ☎0764・44・3219

今年の税金は今年のうちに
12月は納税強調月間です。

そろそろ年の瀬も迫ってきました。まだ富山県へ納めておられない税金がありましたら、お手元の納税通知書または納付書をご持参のうえ、最寄りの金融機関または県税事務所でお早めに納めてください。
なお、12月29日(木)から1月3日(火)までの間、県税事務所窓口業務を休ませていただきます。年末に税金を納められる方は、金融機関をご利用ください。
(なお、昨年からの金融機関は12月31日が休業となりますので、ご注意ください。)

年末における地域安全活動

年末は、何かとあわただしく、例年この時期になると犯罪や事故が多くなります。
警察では、犯罪や事故を防止するため、地域住民の皆さんと協力しながら「地域安全活動」を展開するとともに、12月20日から特別警戒活動を実施します。
そこで、皆さんも犯罪や事故にあわないよう次のことに気を配りましょう。
●多額の現金を持ち歩く時は、「ひったくり」等の被害にあわないよう現金はしっかりと身につける。
●自転車や自動車を停める時は、必ず「鍵かけ」、「キーロック」をする。
●雑踏事故にあわないため、混雑する時は落ち着いて行動するとともに、誘導員の指示に従う。

参加費 100円(七草粥材料費)
問合せ・申込み
自然博物館ねいの里 ☎0764・69・5252
(12月17日)まで受け付けます。



お答えします。
暮らしの中でのちょっとした疑問

Q 魔法瓶にお湯を注ぐと、キラキラ光る銀粉のようなものが浮かんでいます。そのまま飲んで害はないのでしょうか？

A これは、中のメッキがはがれたのではなく、水道水中のケイ酸、マグネシウム、カルシウムなどミネラル分が化合したものです。水道水を長く沸騰させると炭酸ガスが大量に飛び出し、水質がアルカリ性になります。このとき、でき易くなりますが有害ではありません。

食酢を約10%加えたお湯を入れ、約60分放置すると取れます。

Q 四年間使用していたガス炊飯器。内釜のフッ素樹脂皮膜の一部がはがれていましたが、そのまま使用していたところ、ご飯に茶色の異物が付くようになりました。そのまま食べても害はないのでしょうか？

A これは、フッ素樹脂皮膜のはがれた後のアルミ地金の表面に、水道水中の鉄やカルシウムなどのミネラル分が付着し、これにでん粉なども残留し、茶色く変色したものであり、有害ではありません。フッ素樹脂皮膜は、ホーローやアルマイトと比べて軟質ですので、内釜をタワシのような固い物で洗うのは好ましくありません。また、こびりついたご飯なども、水に浸して柔らかくしてから洗うようにすれば、長持ちします。

相談は、県消費生活センター、電話0764(32)9233、
高岡支所、電話0766(25)2777

編集後記

★新川文化ホールの大ホールに観客は僕一人。ステージ上では高木栄子さんがラフマニノフを奏でる。ときには情熱的に、ときにはやさしく響くピアノの調べ。こんな贅沢な聴き方があるだろうか。広報紙担当者の唯一の特権である。取材では、つい趣味の世界に入り、なぜ弾く人によってピアノの音色までが変わるのか？など日頃の疑問をぶつけた。熱心に、そして懇切丁寧に語ってくれた高木さん。これらの貴重な話を記事にできないのが、かえすがえすも残念！

(K) ★あわただしい月、十二月。誰もが走り回るほど忙しい、ゆえに師走という。一年の締めくくり、来年へのステップアップの月でもある。忙しいなかでも今年一年をじっくりと振り返ってみたい。

そしていよいよ冬本番。スキーなどのレジャーも楽しいが、雪と北風はいつしか春への想いをつのらせるのかもしれない。十二月は春待月とも呼ばれる。(N) ★胸に響く和太鼓の音は、聴く者に勇気を与える。今回の越中舟橋村ばんどり太鼓の取材でそのことを再認識した。太鼓を打つ者のエネルギーが、太鼓の音を通じて聴く者を感化するのだろうか。(Y)

今月号で掲載したPIN UP TOYAMAの写真
を抽選で5名の方にワイド六ツ切(25×18
センチ)でプレゼントします。希望される
方は、官製ハガキで下記の様式でお申し込
みください。1月25日消印有効です。

氏名	富山市新総曲輪
住所	富山県広報課
電話	写真プレゼント
本誌を読んだ感想	12月号係あて

十二月

とやまの祭事記

餅つきは歳神を迎える神事

としもち
歳餅神事

立山町



古来より餅は靈魂を宿り込める力があると信じられ、節目には欠かすことのできないものとされてきた。また、十二月二十八日は歳神を迎えるための餅つきの日と言われており、立山町芦峯寺雄山神社でも千二百八十年前の遷宮以来、この日に歳餅つきの神事が行われている。

当日は早朝より氏子たちが境内に集まる。四本の青竹にしめ縄を張った結界の中には臼が置かれ、寒風のなか餅つきに取り組む。特別な歌もなく、風音以外は静寂が広がる境内に餅つく音が響きわたる。

餅はつきあがると平たくのばされ、ボンボラと呼ばれる直径三センチ程の竹筒で円形にくり抜かれ、紙袋に納められる。

現在では、初詣に訪れる人たちに広く分けられている歳餅だが、かつては門外不出のものとされ、地区住民にのみ分けられたという。

元日には、夜が明けぬうちから参拝の列が続く。一年の幸福を祈る人々の手には家族の数だけ歳餅の入った紙袋が握られている。

(参考文献) 富山の習俗

12月1日、世界エイズデー

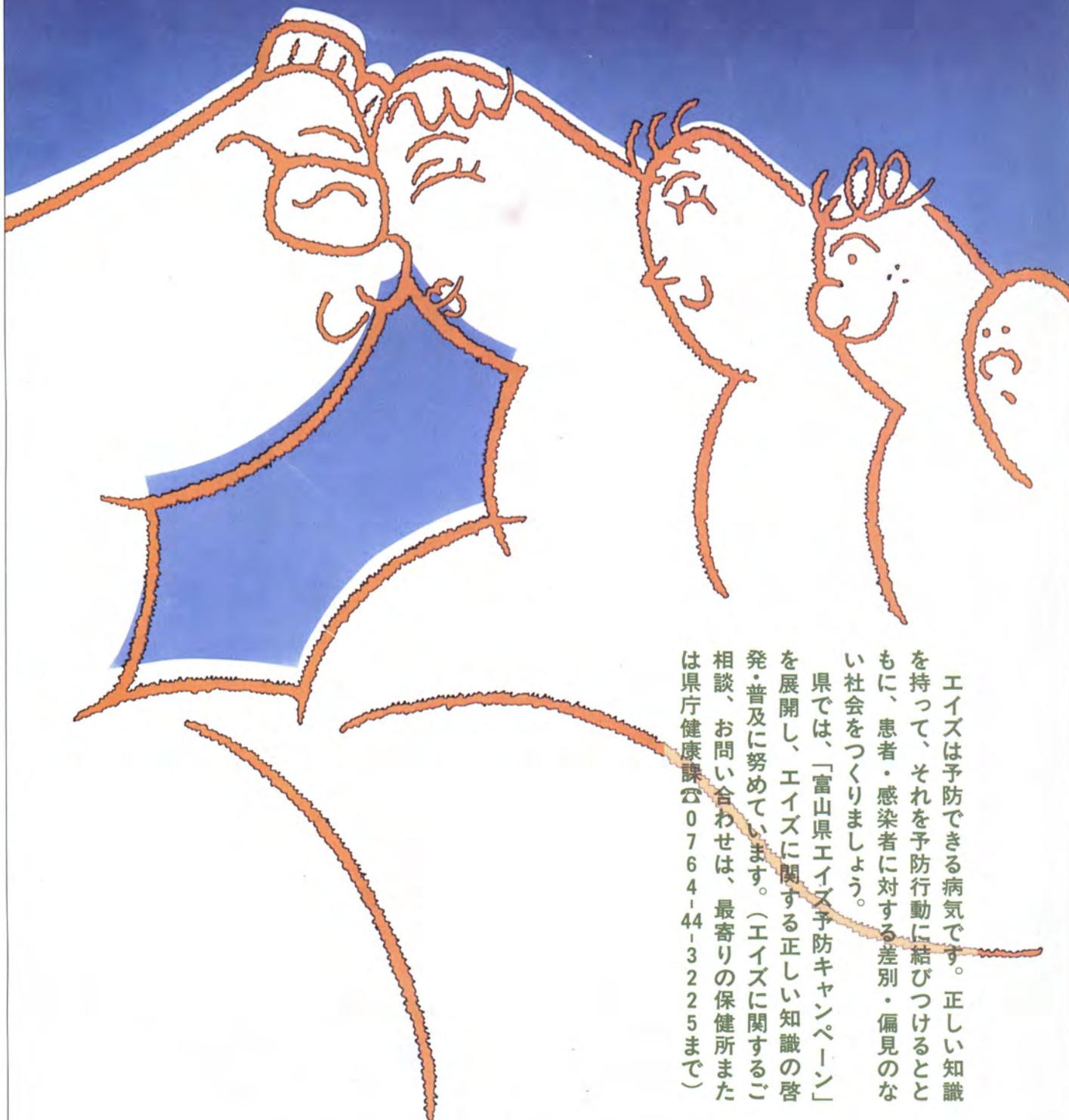
広報とやま 平成6年12月号

企画発行 富山県企画部広報課 富山市新総曲輪1-7

☎31-31-31 (県民相談電話)

FAX 44-3300 (県民相談ファックス)

印刷 チューエツ



エイズは予防できる病気です。正しい知識を持って、それを予防行動に結びつけるとともに、患者・感染者に対する差別・偏見のない社会をつくりましょう。

県では、「富山県エイズ予防キャンペーン」を展開し、エイズに関する正しい知識の啓発・普及に努めています。(エイズに関するご相談、お問い合わせは、最寄りの保健所または県庁健康課 ☎0764-44-3225まで)

AIDS is a disease which can be prevented.
エイズは予防できる病気です。



「エイズに取り組もう!—家族みんなで」

AIDS AND THE FAMILY

厚生省・財エイズ予防財団